教育のぼりべつ

令和４年
3月10日
No.33

発行：登別市教育委員会　TEL0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目33番地

令和３年度 文化芸術による子供育成総合事業

「萬狂言（よろずきょうげん）」　〈能楽公演〉

11月30日（火）、登別市民会館大ホールにおいて、市内８小学校の６年生が萬狂言≪能楽公演≫を鑑賞しました。

この巡回公演は文化庁の事業で、子どもたちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることが目的とされ、本市では平成28年度から招致しています。



鷲別小学校代表４名　狂言小舞「兎」

今年度は、約３００年の歴史や伝統を受け継いできた狂言方和泉流 野村万蔵家一門「萬狂言」（野村万之丞さん他）が、舞台で「柿山伏（かきやまぶし）」と「附子（ぶす）」を演じました。また、鷲別小学校６年生の代表者４名が、事前のワークショップでプロの狂言師の方から実技指導を受けて取り組んだ小舞「兎（うさぎ）」を堂々と披露しました。



狂言「附 子」の場面



狂言「柿山伏」の場面

登別市立登別小学校　公開研究会　オンライン開催

１１月１８日（木）、登別市教育実践研究奨励校の登別小学校で開校 130 周年記念公開研究会が開催され、２年生国語「馬のおもちゃの作り方/おもちゃの作り方をせつめいしよう」の授業がオンラインで行われました。研究テーマを「確かな読みの力を身に付け、言葉で豊かに表現する子どもの育成」と設定されており、授業を通して、子どもたちは分かりやすい説明文を書くためには、文章の組み立てや説明の組み立て、「まず」「つぎに」などの順序を考えて書くことや工程を具体的に書くことが大切であると気付きました。



カメラ調整



授業の様子



カメラ担当は教員が交代で

幌別東小学校と幌別小学校の統合について

登別市教育委員会では、昨年８月に、市内小中学校のグランドデザイン（全体構想）を策定し、今後３５年間を３つの期間に分けて、各期間における市内の学校配置のあり方を示しました。



この中で、幌別東小学校と登別中学校については、児童・生徒数の減少幅が特に大きいことから、令和３年度～７年度までの第１期に、それぞれ幌別小学校、幌別中学校と統合することを想定しました。

その後、両校区では、保護者や地域住民有志により地区別検討委員会が組織され、両校の今後のあり方や統合の是非などについて議論が行われてきました。

このうち、幌別東小学校区の地区別検討委員会では、昨年１０月から今年１月にかけて５回にわたり議論が行われましたが、その結果、地区別検討委員会としては、幌別東小学校を幌別小学校に統合することに合意する決定がなされました。

これを受けて、教育委員会では、地域での議論の経過も踏まえ、幌別東小学校の統合について検討を行ってきましたが、このままの状態が続けば、小規模化により望ましい教育環境を確保することが難しくなることから、令和７年４月１日に、同校を幌別小学校に統合する方針（案）をまとめ、令和４年２月３日から３月４日の日程で、パブリックコメントを実施しました。

今後、教育委員会では、パブリックコメントの結果も踏まえて、本年３月中には、両校の統合に関する方針を最終決定する予定です。

その後は、令和４年度から５年度にかけて、新たに設ける委員会で統合の詳細を話し合い、令和６年度は１年を通じて児童や保護者同士の交流事業を行うなどして、令和７年４月１日の統合に備える予定です。

今後の動向については、教育のぼりべつでも引き続きお知らせしていきます。

登別市小中学生のための札響コンサート

１２月６日（月）、登別市文化・スポーツ振興財団などの主催による札響コンサート「道新ジュニアクラシック」が、市民会館で２年ぶりに開催されました。毎年、中学校区のローテーションで開催され、今年度は幌別中学校区（幌小・東小・幌中・登別明日）の児童生徒が鑑賞しました。「オーケストラ」の説明や楽器の説明を交えて多くの曲が演奏され、子どもたちは食い入るようにステージを見つめ鑑賞していました。



札幌交響楽団



楽器の紹介

全校道徳「いのちをいただく」

１１月２６日（金）、鷲別中学校の全校道徳の授業において、道内の僧侶とその家族で構成する「チームいちばん星」による朗読劇が行われました。



今回は、食肉加工センターに勤める人の葛藤を物語にした「いのちをいただくこと」をテーマとした朗読劇です。長年、愛情をかけて育てた家畜を手放す日を迎える人がいる。その家畜の命を仕事として扱わなければならない人もいる。私たちが何気なく口に運んでいる食べ物の背景には、「命の葛藤と向き合っている人たちのドラマがあり、多くの苦労や苦悩によって、私たちの食、つまり命が支えられていることに感謝していきましょう」というメッセージが朗読劇を通じて生徒の心に伝わっていました。

マンドリン演奏会

１２月１５日（水）、幌別西小学校において西陵中学校区地域教育協議会が主催する「コンパニア・デ・マンドリーナ」（15 名）によるマンドリン演奏会が開催されました。「大きな古時計」など９曲を演奏。コンサートを聴いた３・４年生は、見事なマンドリン演奏に感動していました。



令和３年度学校力向上に関する総合実践事業 第３回登別市地域協議会

登別市立幌別小学校　学校公開

１２月１０日（金）、幌別小学校において「学校力向上に関する総合実践事業」学校公開が開催されました。

研究主題を「自ら問いかけ、考えを深める子の育成～主体的に考える算数科の授業の在り方～」と設定し、２年生算数科「三角形と四角形」、４年生算数科「小数のかけ算やわり算」、５年生外国語科「Happy New Year：年賀状を作ろう」の授業が公開されました。２年生では、長方形の紙を切って、できた形の角の形や辺の長さについて調べ、正方形の性質を確かめていました。４年生では、余りのある（小数）÷（整数）の計算の仕方を考え、タブレットで線分図を使い、余りの表し方について、ペアで交流し、確認しました。５年生では、タブレットを使い、ニュージーランドの友人に向けて、自分や家族、ヒーロー、日本の正月について、わかりやすく紹介したビデオレターを作成しました。その後の地域協議会では、指定校となっている小学校と中学校から取組が報告されました。



２年生算数科



４年生算数科



５年生外国語科

将来なりたい自分への道筋を考える機会

コロナ禍の影響で職場訪問や職業体験がこれまでどおり実施できない中、１月１４日（金）に幌別中学校の２年生が、将来なりたい自分への道筋を考える機会として、日本工学院北海道専門学校を訪問し、体験学習を行いました。体験学習を行ったのは、①情報処理科②ＣＧデザイナー科③医療事務科④建築学科⑤ホテル科⑥電気工学科⑦自動車整備科の７学科。自動車整備科では、本物の自動車のエンジンオイルの量を点検したり、スタッドレスタイヤの溝の深さを測定したりするなど日常点検を体験していました。他の学科においても、最先端・本物の設備で実践的な体験を行いました。生徒たちは、体験を通して関連する職業について理解を深めるよい機会となりました。



自動車整備科



電気工学科



建築学科